

文化の秋、未知の刺激に出会う 大人のための文化祭
「六本木アートカレッジ 2014」11月24日(月・祝)開講
為末大、チームラボ代表 猪子寿之他、多彩なインフルエンサーが贈る全20講座

森ビル株式会社が運営する「アカデミーヒルズ」(理事長 竹中平蔵)は、1日4,000円で、全20のアートに関するオリジナル講座を好きなだけ受講できるワンデーイベント「六本木アートカレッジ～つなぐ、みんなの「！」～」を、11月24日(月・祝)に開催します。

「六本木アートカレッジ」は、社会人向けに年間200本以上のプログラムを提供する「アカデミーヒルズ」が、ビジネスパーソンを対象にわかりやすく、多様性と現代性をもつ切り口で、「自分にとっての『アート』とは何か?」を考える機会を提供するセミナーシリーズです。

2011年からスタートした秋の「六本木アートカレッジ」。“1日限りのアートの学校”として、毎回1000名の受講者を集め、新しい刺激に出会い、興味を広げることで自分らしい感性を磨くきっかけを提供しています。

「六本木アートカレッジ 2014」～今年のテーマは「つなぐ、みんなの“！”」～

為末大×竹中平蔵の“美しく走る”をテーマにした講座や、チームラボ代表 猪子寿之×津田大介の「突き抜けるアート」講座をはじめ、今年もTEDxTokyo 創設者などによる、英語で学ぶ講座も開講決定。様々な分野のインフルエンサーが贈るインスピレーションのシャワーで、新しい刺激に触れるきっかけを提供します。

六本木アートカレッジの楽しみ方

- ① 好きな講座を自由に選択、“私のため”の時間割を作ろう!
1日4,000円、全20講座から好きな講座を好きなだけ、自由に選択。自分だけの時間割で受講できます。
- ② ファインアートに限らない「アート」を楽しむ!
ファッション、写真、山伏から「走る」まで、生活をより豊かにする“アート”の可能性を追求します。
- ③ 未知の刺激で新たな「自分らしさ」発見!
よく分からない、少し難しそうな分野にも気軽に飛び込める「六本木アートカレッジ」。今年も英語オンリーの講座など、さらに多様な講座を開講します。

【開催概要】

- 開催日 : 2014年11月24日(月・祝) 10:00～18:30
- 場所 : アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- 参加費 : 4,000円(全20講座)
- 入場者 : 定員1000名
- 申込 : Webサイトにて参加申し込み受付中
- 主催 : アカデミーヒルズ
- 特別協力 : 六本木アート・トライアングル
(国立新美術館、サントリー美術館、森美術館)、凸版印刷株式会社
- 協力 : 株式会社 umari、AIT、オズマガジン、JAXA、J-WAVE、Discover Japan、ナナロク社(五十音順)



◇本件に関する報道関係者の方のお問合せ先◇

森ビル株式会社アカデミーヒルズ事業部スクール事務局 担当:佐野

Tel 03-6406-6200 Fax 03-6406-9350 E-mail: biz@academyhills.com

「六本木アートカレッジ 2014」の注目講座

【オープニングトーク】 10:00 - 11:00 スポーツはアートか? ~“美しく走る”ということ~

竹中平蔵(アカデミーヒルズ理事長/慶應義塾大学教授)
為末大(元プロ陸上選手)

個人としては「自分軸」、社会としては「ソフトパワー」がキーワードになる時代、選手時代の経験や感じたことを通じて、幅広い活動をされている為末大氏と、ソフトパワーの重要性を説く竹中平蔵アカデミーヒルズ理事長による、「六本木アートカレッジ 2014」のスタートを飾るオープニングセッションです。



【エンディングトーク】 17:30 - 18:30 突き抜けるアート~社会と人をつなぐもの~

猪子寿之(チームラボ代表)
津田大介(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)

世の中に新しい価値を送り出すウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」代表、猪子寿之氏と、政治・経済・カルチャーなど独自の視点で発信している津田大介氏がアートの可能性について語ります。



11:20 - 12:20 語る、つなぐ ~記憶のアンテナにふれるとき~

いとうせいこう(作家・クリエイター)
安田登(能楽師 ワキ方・下掛宝生流)

死者と語る物語を多く持つ日本の伝統芸能「能」をフックに、古くから日本に語り継がれている文化、死生観など、私たちが忘れてきている大切なことについて、作家のいとうせいこう氏、能楽師の安田登氏にお話しいただきます。



14:50 - 15:50 0円の仕事~NO LIFEWORK,NO LIFE.~【J-WAVE presents】

箭内道彦(クリエイティブディレクター)

「0円でやる仕事」、それが「ライフワーク」。なりたい職業より、やりたいこと。やりたいことの根っこさえしっかりしていれば、職業は何でもいい。ラーメン屋になることも、ディズニーランドで働くことも、「人を喜ばせたい」という動機はいっしょ。セッションでは、自身を振り返りつつ、箭内流のライフワークの考え方、見つけ方についてお話しいただきます。



16:10 - 17:10 家族って何だろう? ~うまれる、ずっと、いっしょ~

豪田トモ(映画監督)
古田秘馬(プロジェクトデザイナー/株式会社umari代表)

うまれる命、旅立つ命、つながる命…。家族の生と死を描いた、笑いと涙、愛の物語、映画『うまれる ずっと、いっしょ。』。40万人以上を動員した前作からコンビを組む、豪田トモ監督と、古田秘馬氏が、この物語を通して社会に伝えたいメッセージを語ります。



16:10 - 17:10 ハコ物行政はデザインで変えられる【Discover Japan presents】

谷尻誠(建築家/Suppose design office 代表)
出原昌直(ディスカバーリンクせとうち代表)
高橋俊宏(「Discover Japan」統括編集長)

最近、注目の広島県尾道市の先進的な事例をもとに展開します。尾道で今注目のU2。港の倉庫が日本初のサイクリスト向けの商業施設として甦りました。仕掛け人に聞く、U2に吹き込んだデザインの力とは?



「英語」で学ぶ3講座

“City Ecosystem Building: TEDxTokyo, FabCafe, Speakeasy...”

Todd Porter (TEDxTokyo創設者)

“No Recipe”

クライン・ダイサム・アーキテクツ(建築家ユニット)

“Japan through Diane’s Eyes”(tbc)

ダイアン吉日(英語落語家)



その他、様々な分野の講座を開催!

「ここがすごいよ! 日本美術」【TOPPAN presents】

山口晃(画家)

「『宇宙』と『伝統文化』をどうつなぐか。宇宙時代の日本の試み」【JAXA presents】

村山裕三(同志社大学 副学長) / 山口孝夫(JAXA宇宙環境利用センター計画マネージャー)

「撮って、残して、味わって。すると何が見えますか?」【オズマガジン×ナナロク社 presents】

川島小鳥(写真家) / 古川誠(オズマガジン編集長)

「オペラが教えてくれることーひとつの恋も演出次第」

伊香修吾(オペラ演出家)

「朗読ノススメ」【supported by 森美術館】

和合亮一(詩人)

「ART FOR PEOPLE アートが癒すココロとカラダ」【AIT presents】

塩見有子(AITディレクター) / ロジャー・マクドナルド(AIT副ディレクター)

「山伏対談 ～人と自然がつながるとき～」

星野文紘(山伏) / 坂本大三郎(イラストレーター/山伏)

「数学と音楽で世界が変わる! ? ～創造性のヒント～」

中島さち子(Jazz Pianist/数学者)

「チューリヒ美術館展の出品作から見る ヨーロッパ20世紀美術の歴史」

【国立新美術館 presents】

山田由佳子(国立新美術館研究員)

「『高野山開創1200年記念 高野山の名宝』展 高野山の歴史と名宝の魅力」

【サントリー美術館 presents】

添田隆昭(高野山真言宗宗務総長総本山金剛峰寺執行長)

「サイエンスが未来を拓く! ～人間を進化させる義足～」

遠藤 謙(ソニーコンピューターサイエンス研究所研究員 / 株式会社Xiborg代表取締役)

「六本木アートカレッジ 2014」 プレイベント

今年で5回目を迎える「六本木アートカレッジ」、当日の講座の雰囲気味わって頂くため、初の試みとしてプレイベントを行います。24日に登壇する講師が、これまで触れてきたカルチャー（音楽、本、映画など）の中で、「どうしてもなく好きなモノ」を語ります。対談向けの意気込みも含め、プレイベントでしか聞けないトークを繰り広げます。

六本木アートカレッジ POP-UP @TSUTAYA TOKYO ROPPONGI

「どうしてもなく好きなモノ」

- ・日時: 11/14(金)川島小鳥 (写真家)
11/21(金)津田大介(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)
- ・場所: TSUTAYA TOKYO ROPPONGI 1F吹き抜けカフェスペース
- ・参加費用: ¥1,000(税込)※スターバックスドリップコーヒー付
- ・参加方法: TSUTAYA TOKYO ROPPONGI 店頭、電話(03-5775-1515)にて申込み
- ・定員: 50名 ※申込受付 10/1(水) AM7:00よりスタート
- ・その他: 当日、登壇者の著書をご購入頂いた方へのサイン会実施予定



「六本木アートカレッジ」とは



竹中平蔵

アカデミーヒルズ理事長

今の時代を表現するキーワード、「グローバル化」そして、「ソーシャルメディア化」。この2つの現象により、国や社会、会社などの組織よりも、個人が力を持ち、個人が表舞台に立つパーソナルな時代がやってきます。パーソナルな時代に必要なのは、「自分の評価軸」、「自分の価値基準」を明確にすること、個人で判断し選択する力です。

「自分軸」を探するためには、効率や経済性以外の別の価値基準を提供する可能性を秘めているアートに関心を持つことが重要になってくるでしょう。また、アートは「ソフト・パワー」として、社会の価値や仕組みを変える大きな力へ発展もします。アートを提供する側(アーティストや企業など供給サイド)だけではなく、それに価値を見出す力を持つ個人(需要サイド)の存在も必須です。アートに触れ、アートの視点を持つことにより自分の軸を創り、自分らしく生きる個人を育む、それが「六本木アートカレッジ」の目的です。

【アカデミーヒルズ<http://www.academyhills.com>】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をビジョンに、街づくりに「都市を創る(ハード面)」と「都市を育む(ソフト面)」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ(理事長竹中平蔵慶應義塾大学教授)は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジエントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸ホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。

▽六本木スクール一般問合せ〒106-6149 港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49F
TEL: 03-6406-6200/受付時間: 10:00-18:30(土・日・祝・年末年始を除く) FAX: 03-6406-9350

【参考】六本木アートカレッジ」開催状況

2011年からスタートした六本木アートカレッジは、過去に中田英寿氏、池上彰氏、篠山紀信氏、坂本龍一氏など、多彩なゲストが登壇し、30代のビジネスパーソンを中心に、多くの参加者様にお楽しみいただいています。

六本木アートカレッジ参加者属性 ※2013年11月23日開催アンケートより

□参加者の約7割が女性

□20代、30代が約7割を占める

□8割がビジネスパーソン

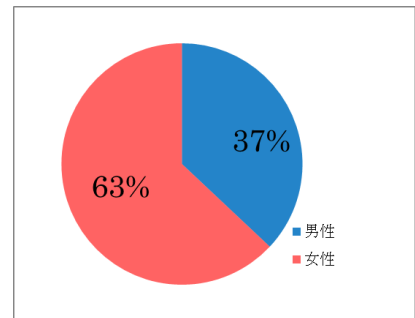
<昨年来場者様の声>

「どの講義も刺激的であつという間に時間がたってしまった。

単純に知らないことを沢山知ることができたという面白さに加えて
未来をちょっと面白く想像するキッカケになった。」

「一日自由に講座を選び、普段から気になっている何人もの方々の生の言葉を近くで聞くことができる。
こんな豪華な講演会があるだろうか。」

「普段聴けない方からの話をライブで聞けるのは貴重な体験で、ポジティブに自分に働く気がした。
同じような体験をしたいと思ってる人がこんなにも多いことをうれしく思いました。」



これまでの開催実績

六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.1 ～アートってこういうことだったのか！～

開催日：2011年11月23日（木・祝）

【主な登壇者】

- ・伊勢谷友介(俳優/監督/Rebirth Project 代表)
- ・中田英寿(一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION 代表理事)
- ・会田 誠(美術家) ・猪子寿之(チームラボ代表) 他



六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.2 ～アートでエネルギーチャージ！～

開催日：2012年10月8日（月・祝）

【主な登壇者】

- ・生駒芳子(ファッション・ジャーナリスト)
- ・大宮エリー(作家・脚本家・映画監督) ・篠山紀信氏(写真家)、
- ・横尾忠則(美術家) 他



六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.3 ～おもしろい未来がやってくる！～

開催日：2013年11月24日（日）

【主な登壇者】

- ・谷川俊太郎(詩人) ・一青窈(歌手) ・阿川佐和子(作家・エッセイスト)
- ・水野学(クリエイティブディレクター/good design company 代表取締役/
慶應義塾大学特別招聘准教授)
- ・真鍋大度(メディア・アーティスト) 他

